

## 神聖なる場にも危険が潜む

4/27(日) 15 時頃、石屋川から東へ 50mのミニコープから北東へ 100mの神社にて撮影



住宅地の中にこぢんまりとたたずむ神社。本来は争いなどあるべきではない場所だ。そんな場所にある、灯籠に囲いがしてある。どんな危険から身を守っているのか。かつて、誰かがいたずらでもしたのである。いや、もしかすると、逆に灯籠の方が危険をはらんでいるのかもしれない。しかし、それにしてもこの場にふさわしくない“檻”である。しかも、とても頼りなげだ。ちなみに、この神社は駐車場に一つ目の鳥居があり、地震で倒れたと思われる、名前の彫られた石が剥き出しのまま整然と並んでいた。神様をお奉りする場が社会からおいていかれている気がして悲しくなった。

## 目に見えない落下物

4/27(日) 15時20分頃、石屋川から東へ200mのマンションにて撮影



普通の住宅地のなかにある、普通のマンションのベランダ。その普通さの中に無意味なフェンスを見つけた。よく見ると、上も横も下もあいている。子供や物が落ちるのを防ぐでもなく、ハトやカラスからベランダを守っているわけでもない。まるで、集団の生活空間から排出される、私には見えない落下物を守っているかのように。また、このマンションの駐車場には「不審者常時監視中」の立て札が。不審者が常にいるらしい。それはそれは危険だ。



## 近代化とジンクス

4/29(火) 10 時頃、阪急御影駅から徒歩 10 分の坂口製麺より西へ 120mの駐車場にて撮影



日本人はゴロやジンクスをよく気にする。近代化を遂げた社会の中で、なぜ靴を右から履けばよい事があると言うのか。なぜ渡し箸をしてはいけないのか。最近あまり見かけなくなった気がするが、駐車場でもその傾向が見られる。4(死)や9(苦)を避ける。また、13(日の金曜日)を避けている事もあると聞いた。そこに車を停めると何が起これるというのか。車が盗まれる?ポコポコにされる?それは大変だ。私も車を所有するようになったら、避けて停めよう。私は不幸の手紙まがいの「このメールを何人に送らないと悪いことが起こります」というのを真剣に送っている友達をバカにしたことがある。こんな風に、ジンクスを冷めた目で見る私は今日もほっておくと良い“気”が抜けていくという右手の小指に指輪をはめ、それを阻止している…。

## 選ばれし者にとっては安心できる社会

4/27(日) 3時20分頃、先程の神社から西へ30mほどの曲がり角にて撮影



私はこれまで、危険から何らかの形で身を守っているもの達を探してきた。(まあ、私にとってはどうかと思うものばかりだったが。)しかし、そんな中で、幸せに暮らしているものを見つけた。それは単なる鉄板なのだが、青々とした葉にやわらかく包み込まれ、静かにそこにいた。時が経ち、錆こそついているものの、長い間、人間の手にも触れられずにじっとしていたのだろう。他人を見たら敵と思えと言うような社会の中でめくめくとしていられる者(物)は選ばれし者の気がする。いや、実際はそうして生きていくには底知れぬ努力が必要なのかもしれない。容量の良い人間。私はそうなりたいとも思うし、なりたくないとも思う。ただ、道端の石ころのように見向きもされない人間にはなりたくない。